



令和3年11月1日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

令和3年度フードバレーとから人材育成事業 「農業経営者セミナー」開催のご案内

主催：国立大学法人帯広畜産大学・帯広市

帯広畜産大学と帯広市は、平成24年度から、フードバレーとから人材育成事業を共同事業として実施しています。

この度、農畜産業における規模拡大や法人化に伴うサポートの一環として農業経営者セミナーを開催いたします。

北海道では農家の大規模化や法人化が急速に進んでおり、法人化は農業経営の発展に向けた道筋の一つです。法人経営は個人経営とは異なり、会社として中・長期計画を立て緻密な売上・コスト管理や、労務の管理を行う等、様々な課題が考えられます。本セミナーでは、農業経営の法人化を検討している方を対象に、検討すべき課題について実例を通して紹介します。また、昨今農業者に求められる持続的農畜産業の実施に関して、国連が定めるSDGs（持続可能な開発目標）の解説も含めながら説明します。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、直接会場での受講とWeb配信またはオンデマンド配信により実施します。

記

○農業経営者セミナー

目 的：農畜産業における法人化に伴う、事業承継、労務管理等の課題解決に向けて、事例を通したセミナーの実施により、農畜産業の規模拡大や人員確保をサポートする。農業者に求められる持続的農畜産業の実施に向けて課題を共有する。

対 象：農業経営者等

日 程：11月17日（水）・11月29日（月）
12月1日（水）・12月8日（水）

時 間：18:30～20:00 ＊12月8日のみ18:00～20:30

会 場：とからプラザ3階 会議室304（帯広市西4条南13丁目1）
とから館1階 丹頂の間（帯広市西7条南6丁目2番地）＊11月29日のみ

受講方法：会場受講、Web受講（Zoom）またはオンデマンド受講

定 員：会場受講 15名上限

全体 40名程度

受講料：各セミナー 3,000円 全受講の方は12,000円

＊データ通信料は各自ご負担ください。

修了証書：4回のセミナーを全て受講した方に、修了証書を発行します。

募集期間：10月29日（金）～各セミナー実施の3日前まで

※新型コロナウイルス感染症対策として、参加者への検温・体調管理の徹底、マスク着用・消毒液設置、距離の確保、換気対策等を徹底する。

第1回「現場の実践的事例に学ぶ経営継承の留意点」

内 容：農業経営の継承の本質は？経営継承の具体的な進め方、法人化について、儲ける農業経営の実践について解説。

日 時：令和3年11月17日（水）18:30～20:00

講 師：竹川会計事務所 代表社員 所長 竹川 博之 氏

第2回「『開拓者たれ』これからの酪農経営に必要なビジョンとは」

内 容：「牛も人もどンドン育てる牧場」として、従業員の成長と牧場の発展を両立させること。農場HACCP取得やA2ミルクの取り組みなどについて紹介。

日 時：令和3年11月29日（月）18:30～20:00

講 師：藤井牧場 代表取締役 藤井 雄一郎 氏

第3回「安定的な農業雇用のために雇用主として気をつけたいこと」

内 容：労務管理上の課題となる雇用保険等、雇用条件にかかわる話題、外国人技能実習生の雇用にかかわる法律、労働基準法との関係等、労務関係のトラブル事例を交えて解説。

日 時：令和3年12月1日（水）18:30～20:00

講 師：外崎労務事務所 所長 外崎 裕康 氏

第4回 「『循環型農畜産業』メタン発生の抑制・未利用資源の利用」

内 容：未利用資源の飼料化に関する研究、反芻家畜から排出されるメタンに関する研究について紹介。

講 師：帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授 西田 武弘

「堆肥づくりと堆肥利用で牛にも人にもやさしく

—堆肥化のポイントと敷料としての堆肥利用—

内 容：堆肥づくりのコツや帯広畜産大学で開発された「堆肥ロボット」などの事例を紹介しながら、堆肥を敷料として利用するための作業体系と効果を解説。

講 師：帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授 宮竹 史仁

日 時：令和3年12月8日（水）18:00～20:30

※詳細については、こちらからご覧ください。

・URL：<https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>



【連絡先】

国立大学法人帯広畜産大学 産学連携センター内
フードバレーとから人材育成事業事務局（担当：藤倉・和知）
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp
TEL 0155-49-5773 FAX：0155-49-5775